



遠中だより

発行日:令和3年10月8日
発行:蔵王町立遠刈田中学校
【第11号】文責 佐藤

自主 敬愛 活力

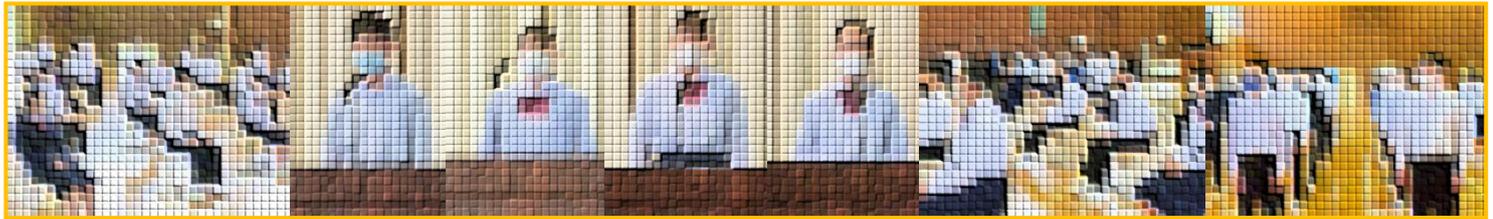
精一杯頑張った1学期でした

～皆様のご支援ありがとうございました～

新たな目標を持ってスタートした4月。早いもので101日間の登校を終え、本日、1学期の終業式を迎えました。式の中では E 君, O さん, S さん, C さんの4名が学年や生徒会を代表して1学期の振り返りを発表しました。これまでの自分の頑張りをしっかりと振り返り、自信を持って発表する姿がとても頼もしく感じました。本日、学級担任から子供たち一人一人に通信票を手渡しました。ご家庭でも一緒に1学期を振り返り、子供たちの頑張りを褒めていただければと思います。皆様のこれまでのご支援とご協に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



実り多き秋に...



第1学期終業式 式辞 校長 目々澤 辰悟



皆さん、今日で一学期の教育活動が終わります。

コロナ禍2年目を迎えた今年の一学期は、昨年度に引き続き、感染症対策に追われた学期となりました。部活動や体外試合の自粛、応援活動なしの壮行式や激励会、リモートでの集会もありました。職場体験学習と修学旅行は延期を余儀なくされ、野外活動は一泊二日に短縮せざるを得ませんでした。

そのような多くの制約の中でも、みなさんは授業・清掃活動等、落ち着いた生活を心掛けてくれました。そして、校内・校外の一つ一つの行事や活動、大会等に精一杯取り組んでくれました。県大会や東北・全国大会出場をはじめとし、文化面での活躍も数多く見られました。何より、みなさんが諸活動の中で見せてくれた、仲間を励まし思いやる温かな言動、そして最後まで決して諦めることなく挑み続ける姿勢が数多く見られたことは大変嬉しいことでした。

二学期早々には、遠中祭が行われます。全校生徒一人一人の努力で作上げる、最大の行事です。これまで流した汗の分だけ自信を持ってのびのびと発表し、「やり切った」と笑顔輝かせる遠中祭にしてほしいと切に願っています。特に三年生のみなさんには、来たるべき受験に向けて学級のまとまりを更に強くする機会にしてもらいたいと思います。

さて、今日は「ストーン・キャット」というヨーロッパの古い教会でのお話を紹介したいと思います。

「神父が野良猫を飼っていました。神父は猫がいたずらをするため、お祈り中はひもで祭壇の脚に猫をつなげていました。やがて神父が亡くなり二代目の神父がその猫の世話をし、同じようにお祈り中は祭壇の脚に猫をつなげました。三代目の神父も、先輩神父と同じように猫を飼い、お祈り中に祭壇の脚につなげました。四代目の神父は面倒くさがり屋で、生きた猫は飼わず、石の猫を作らせて、祭壇の横に置きました。五代目の神父は床に置かれた石の猫が邪魔だと思い、祭壇の上に置きました。そして、六代目以降の神父たちは、常に祭壇の上に置かれた石の猫にお祈りをしました。いつしかこの教会では石の猫が神聖な存在になりました。でも、誰もその経緯は知りませんでした。」

この寓話は、私たちに教訓を伝えてくれています。私たち人間は、長くやってきたことには必ずよい意味があると思いがちで、その思い込みが想像力や判断力を鈍らせ、その理由や合理性に目が向かなくなり、神聖なルールになってしまうことがあるのです。一方で、ただの野良猫が神聖な存在になったように、私たちの生活や活動の中には、継続によって価値が生まれるものがあります。また、過去に無意味だったものでも、現在や未来に価値を生み出すものもあります。だから、継続することには重要な意味があり、安易に捨てる前によく吟味する必要があります。ただ、受け継いでいく物事が生まれた経緯や理由、目的を確かめることが大切で、新たなものを生み出す上では欠かせない行為です。

このお話を参考に、私は是非二つのことを皆さんに伝えたいのです。

一つ目は、当たり前と思っていることを、「なぜそれが大事なのか、本当に大事なことなのか、それよりもっと大事なものがあるのではないか」を吟味してほしいのです。その上で大事にしたいなら、心を込めて本気で取り組めるはずですよ。

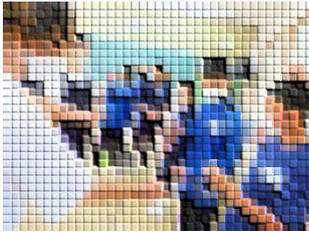
二つ目は、常に「目的」を忘れないことです。「目標」を設定したり、素敵なお話を考えたりすることは「目的」ではありません。自分が、あるいは自分たちがゴールとして目指す姿を「目標」として明確にした上で、その達成に向けて自分の役割を果たそうとしたり、仲間と議論したり、励まし合ったりしていく過程を通して、自分自身と所属する集団を成長させることが「目的」なのです。

明日から、4日間の秋休みが始まります。この秋休みを利用して、まずは、みなさんが汗を流して取り組んでいる、遠中祭に向けた「太鼓の練習」と「全校合唱」について、その活動の大切さを吟味してみてください。「なぜ大事なのか」をしっかりと考えたいと思います。そして、太鼓と全校合唱に対する自分の「目標」を立ててみてください。その上でその「目的」を考え、明確にしたいと思います。

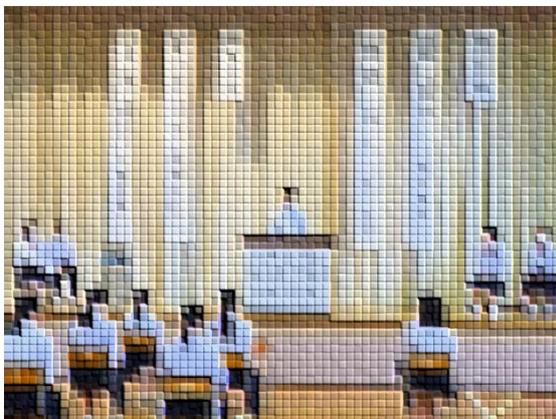
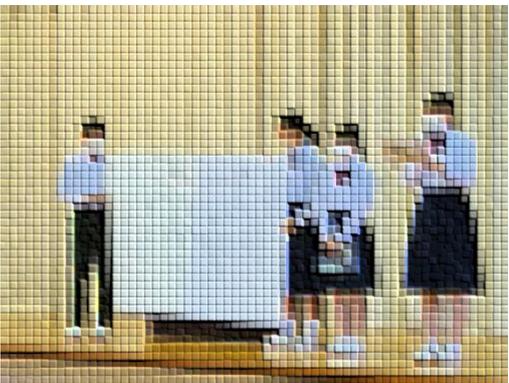
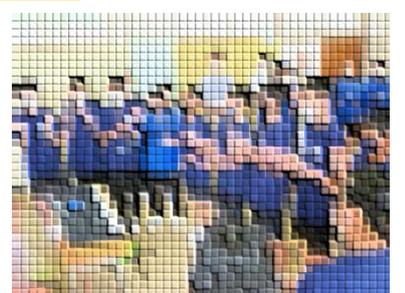
それでは、全校生徒のみなさん、この一学期、本当にお疲れ様でした。

～ 8月・9月の学校生活の様子から～

8月31日(火)
とおがったプロジェクト代表 佐藤氏のご協力をいただき実施した小畑氏によるバイオリン授業。バイオリンの演奏を披露していただいたり、子供たちと一緒に作曲をしていただいたりと楽しい授業をしてくださいました。ありがとうございました。



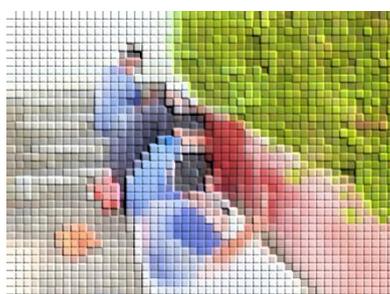
「夢を実現するためにこうしなければいけない」といふ様々な方法や道がある。だから、自分の夢に向かって頑張ってください」と子供たちを励ましてくださいました。



9月29日(水)に行われた生徒会立合演説会及び生徒会役員選挙。立候補者、応援責任者が全校生徒に対して思いや考えをしっかりと発表しました。立合演説会終了後は、静粛な中で一人一人順番に投票を行いました。選挙管理委員会の子供たちの進行も大変素晴らしいものでした。間もなく生徒会執行部も1・2年生へと引き継がれていきます。



10月4日(月)の朝会でされた保健・給食委員会の発表。目の愛護デーにちなんで、目にやさしい生活について創意あふれる発表をしました。



9月13日(月)ふたば学級の子供たち5人が静先生と一緒に昇降口の壁のペンキ塗りをしてくださいました。おかげで、色あせていた壁がとてもきれいになりました。ありがとうございました。

